

13 次世代施設園芸の地域展開の促進

【3, 240 (2, 008) 百万円】

対策のポイント

次世代施設園芸の各地域への展開を促進するため、これまでに整備された次世代施設園芸拠点における成果や取組に関するセミナー等による情報発信、拠点における実践的な研修等を支援するとともに、拠点で得られた知見を活用した施設園芸団地づくりを支援します。

<背景／課題>

- ・我が国の施設園芸を次世代に向かって発展させるため、化石燃料依存からの脱却を目指して地域資源エネルギーやICT等の先端技術を活用する大規模な次世代施設園芸における取組を各地域に展開していくことが必要です。
- ・また、高度な環境制御技術による周年・計画生産を実践できる人材の育成が必要です。

政策目標

国内の園芸施設のうち複合環境制御装置を備える施設の割合を平成36年度までに3割増加

<主な内容>

1. 次世代施設園芸地域展開促進事業

(1) 次世代施設園芸地域展開促進事業 [新規] 278 (一) 百万円

次世代施設園芸拠点で得られた知見の全国的なセミナー等による情報発信、次世代施設園芸拠点等を活用した研修等の人材育成等を支援します。また、取組意向のある地域に対する計画策定等を支援します。

(2) 次世代施設園芸導入加速化支援事業 962 (2, 008) 百万円

継続地区の次世代施設園芸拠点について、中核施設となる高度な環境制御を行う温室等の整備、生産コスト縮減のための新技術実証等を支援します。

補助率：定額、1/2
事業実施主体：民間企業・生産者・地方自治体等から構成されるコンソーシアム等

2. 強い農業づくり交付金（優先枠） 2, 000 (一) 百万円

次世代施設園芸拠点における取組を参考に、地域エネルギーと先端技術を活用した大規模な高度環境制御型栽培施設や集出荷貯蔵施設の整備等について、優先枠を設置することにより、積極的に支援します。

交付率：都道府県への交付率は定額（事業実施主体へは事業費の1/2以内等）
事業実施主体：都道府県、市町村、農業者団体等

3. 新しい野菜産地づくり総合対策事業 [新規]

2, 760 (一) 百万円の内数

施設野菜の大規模団地づくりに向け、次世代施設園芸拠点で得られた知見も活用しつつ、パイプハウスや高度環境制御装置の導入等を支援します。

補助率：定額、1/2
事業実施主体：生産者・実需者・地方自治体等から構成されるコンソーシアム

お問い合わせ先：

- 1、2の事業 生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室
(03-3593-6496)
- 3の事業 生産局園芸作物課園芸流通加工対策室
(03-3502-5958)

次世代施設園芸の地域展開の促進

【平成28年度予算概算要求額 3,240(2,008)百万円】

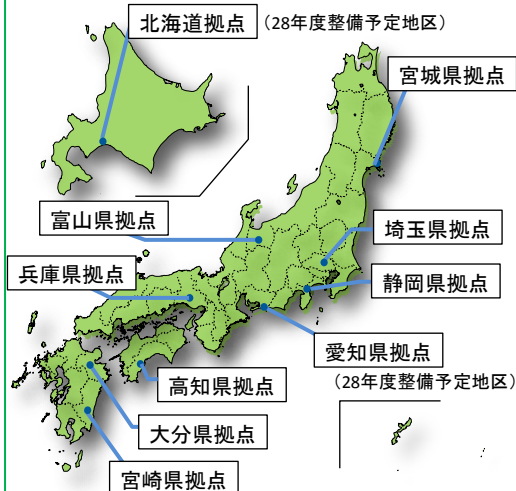
次世代施設園芸拠点 で得られた知見

ICTを活用した
高度な栽培技術

木質バイオマス等の
地域資源利用のノウハウ

実需者との連携による
安定的な販路の確保

次世代施設園芸拠点 (全国10箇所)



次世代施設園芸を地域に展開

1 セミナー等による情報発信、研修による人材育成等

拠点で得られた知見を速やかに普及するため、

- ① 次世代施設園芸拠点の知見を発信する**セミナーの開催**
- ② 次世代施設園芸拠点を活用した実践的な**研修**
- ③ コンソーシアム形成に向けた**マッチングの場の提供**等を支援。

【事業実施主体】民間団体等 【支援対象者】次世代施設園芸に関心を有する者



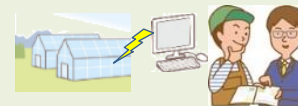
2 計画策定支援

次世代施設園芸の整備を目指す地域に対し、施設園芸の専門家が行う、

- ① **事業計画の策定**
- ② **地域の生産者等のグループ化**等を支援。

【事業実施主体】民間団体等

【支援対象者】次世代施設園芸の整備を目指す生産者、実需者等からなるグループ(都道府県の参画を必須)



3 施設整備

次世代施設園芸拠点で得られた知見を活用した施設園芸団地づくりを支援。

強い農業づくり交付金(優先枠)

地域エネルギーと先端技術を活用した**大規模な園芸施設の整備**を支援

新しい野菜産地づくり総合対策事業(施設園芸野菜団地育成の支援)

施設野菜の大規模団地づくりに向け、**パイプハウス**や**高度環境制御装置の導入**を支援

※このほか、次世代施設園芸拠点の継続地区の整備等を支援。

地域の所得向上と雇用創出を実現！

